

令和6年12月17日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時00分
閉会 午後3時05分

2 出席委員

神 先 宏 彰 教育長
北 村 真 也 教育長職務代理者
末 永 礼 子 委 員
出 藏 裕 子 委 員
秋 山 伸 夫 委 員
松 浦 千 弘 委 員
野々村 誠 一 委 員

3 欠席委員

なし

4 出席職員

森 岡 浩 之 教育部長
川 口 雅 彦 次長兼総括指導主事
松 野 文 彦 教育総務課長
今 西 恵 一 学校教育課長
黒 田 貴 子 学校教育課教育支援担当課長
土 川 博 社会教育課長
宮 本 かおり 社会教育課人権教育担当課長
岩 崎 盛 雄 学校給食センター所長
小 川 博 久 図書館長
片 山 久仁彦 みらい教育リサーチセンター所長
山 内 久美子 みらい教育リサーチセンター副所長兼まなびプロモーション係長事務取扱兼まなびサポート係長事務取扱
亀 井 鶴 子 健康福祉部長
中 川 秀 和 こども未来部長
中 井 佐栄子 こども未来部次長
原 田 啓 子 保育課長
谷 裕 幸 保育課保育幼稚園係長
榎 本 祐 輔 教育総務課総務係長

5 傍聴者

なし

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和6年11月19日に開催した定例会の会議録を確認し、承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・サイエンスフェスタ2024をガレリアかめおかで開催した。当日は、37団体による48ブースの出展があり、多くの家族連れに参加いただき、子どもたちが実験などを楽しんだ。
- ・新規採用職員に対する教職員講座をみらい教育リサーチセンターで開催し、講師を務めた。
- ・令和6年度第2回亀岡市総合教育会議においては、「亀岡市の不登校支援について」、また、「これからの学校運営について」を協議いただいた。
- ・11月29日には、令和6年度亀岡市議会定例会12月議会が再開した。
- ・亀岡市老人クラブ連合会第42回定期大会・健康づくり事業が行われ、参加した。
- ・第32回交通安全子ども自転車亀岡市大会が開催され、今回は千代川小学校のみの参加であった。今後は、参加しやすくするために、4人のチーム参加だけでなく、個人参加も可能としていく。なお、千代川小学校のチームは、今回も圧巻の技能を披露してくれた。
- ・令和6年年末の交通事故防止府民運動に係る街頭啓発活動が市内各所で行われ、加塚交差点で従事した。
- ・第10回京都亀岡ハーフマラソン大会が開催された。ゲストに元短距離選手の朝原 宣治氏に来ていただいた。また、ももいろクローバーZの高城れにさんにも参加いただいた。
- ・市議会定例会12月議会の一般質問において、不登校に関すること、育親学園の新校舎建設に関すること、給食に関すること、特別支援に関すること、2025年大阪・関西万博に関すること等、様々な角度から質問をいただき答弁した。
- ・蕨田野町子ども「心の教育」蕨田野神社めぐり及び餅つき大会が行われ、参加した。

◎国・府等の関係

- ・南丹教育局主催の令和6年度キャリアアップ研修会が開催され、講師を務めさせていただいた。

(4) 報告事項

- ① (仮称) かめおか乳幼児教育センターの開設について
- ② 令和6年度卒業式、令和7年度入学式の日程について
- ③ 令和6年度2・3月教職員研修講座について

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

< (仮称) かめおか乳幼児教育センターの開設について >

末 永 委 員 これまでの協議内容を踏まえ整理され、役割も明確になってきた。

乳幼児教育センターについては、本市ではその必要性は長い間言われてきた。

これまで形になってこなかったが、こういった形で検討され、整理のうえ具体化をしていただいたと理解している。

乳幼児教育センターと教育委員会の関りも一定整理していただいたので、4月からスタートできるのではないかと思う。

これで終わりではなく、実際にスタートしてから必要な事項について、検討することが出てくると思うが柔軟に対応してほしい。

こうした乳幼児期と学齢期を繋ぐ拠点があると、子ども達や保護者にとって子育ての応援になるだろう。

出 藏 委 員 11月28日、こども展に訪れた。

市立幼稚園では、センターへの改修工事が進み、とても良い木の香りがして、子ども達にとって良い環境である。

またこども展は、日々作品が生み出されており、各保育園や幼稚園の先生も見に来ていた。

子ども達は、ようこそというオープンな心が醸成されていると感じた。

センター開設においては、子ども達ありきで進めるとともに、新たな取り組み等があれば、教育委員会にも共有していただきたい。

また、訪問等もしていきたい。

幼少期は教育の根幹をなす時期だと思うので、そこでの学びを多くの方に感じていただきたい。

なおこども展では、動画を上映しており、内容は「夢みる幼稚園」ともいうべきものであり、素晴らしいも

- のであった。保護者や先生に観てもらおう準備も進んでおり、私達も学ぶ姿勢で取り組んでいきたい。
- 秋 山 委 員 A3資料の中に「園訪問、新規」という項目がある。これまでそういった取り組みをしていたのか伺いたい。
- こども未来部次長 これまで園巡回や園訪問は、行っていない。
- 秋 山 委 員 訪問を行う職員体制として、どのような方が訪問されるのか。
- こども未来部次長 各園からのニーズを受け、幼児教育アドバイザーや臨床心理士が訪問することを想定している。
- 秋 山 委 員 職員体制として、何名でスタートするのか。
- こども未来部次長 専任としては、5名。併任として教育委員会と保健センターが関わっていくことになる。
- 秋 山 委 員 専任5名ということであるが、充足しているか。
- こども未来部次長 まず、今既にある事業を充実させていくことと、少しずつ現場のニーズに合わせて対応していくことが想定されるが、まずは5名体制で業務を行っていき、必要であれば、人員増を希望していく。
- 松 浦 委 員 幼児教育と小学校のかけはしとして充実させていくためには、組織力を発揮するために十分な人数とサポート体制が重要であることから、このプロジェクトを成功させるには、できるだけ体制でサポートしあえる組織が必要だと感じた。
- 野 々 村 委 員 わかりやすい資料であった。
- これまで幼稚園として、こういった形で小学校に行き過ぎしていくのかという情報交換は、年に一回だけ小学校に行かせてもらうが、現場の先生も、多様なお子さんが小学校で円滑に学んでいくに当たり、多くの情報を共有したいと思っておられると感じる。
- 今後、そういった機会が増えることを期待する。
- また幼小連携も重要だが、義務教育の最終である幼中連携も併せて大切だと考える。
- 思春期と幼児期の諸課題は似ており、情報交換が重要である。
- そして、保護者への情報発信についても力を入れてほしい。
- 子育てに関する様々な情報が溢れているので、保護者の方もその中から選び取るのが大変なのではないか。専門家はもちろんだが、子育ての経験を経られた先輩保護者の情報を発信できるような研修会等も考えてほ

しい。

北村職務代理者 市長部局に移り4月からスタートするとのことなので、特に意見はない。

前回の協議会において、盛り沢山すぎるのではないかと、人員体制はどうかという話をさせていただいた。どこに力を入れていくかが重要である。

人員のことでいうと、どこも人材不足である。誰でもよいのならいいが、ある程度以上のスキルが必要となると人材はいない。

そう考えると、多様なことができないため、優先順位付けが重要となると思う。

教育委員会の主体的関与についても具体的な事項を定めておいた方がよい。

中井次長が園長の際に何回か園を訪問したことがあるが、幼稚園の状況的学習は大切で、小中学校のようにテキストベースでの教育において、学ばなければならない大事な論点である。

これまでそういった部分が、ほとんど共有されていない。こういったところを介して勉強会等をしていけば、幼児教育の大事なところが、学校にも伝わっていくのではないかと。

私が伝えたいことは、これからセンターを作っていく方が、どういうものを大事にしたいか、優先順位をしっかりと考えていただければ、いいスタートになると思う。

(5) その他

○次回の教育委員会について案内

日時：令和7年1月21日（火）14時から

場所：800会議室

(6) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以上

○教育長職務代理者

○委 員

○委 員

○委 員

○委 員

○委 員

○教 育 長

(調整者 教育総務課長)